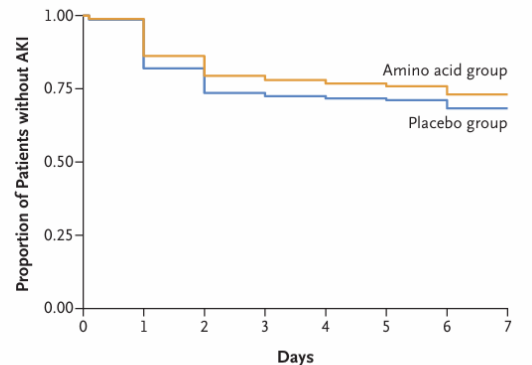




Topics ～循環器診療に役立つ、最新の話～

心臓手術後、腎不全の予防にアミノ酸投与は有効か？
—PROTECTION試験—

心臓手術は人工心肺も用いる大手術となりますが、安全に手術を行うための試みは、手術後、集中治療室へ入室してから続きます。中でも急性腎不全は術後比較的起こる可能性の高い合併症のひとつであり、どのように予防すべきかということが世界中で長らく議論されています。昨年イタリアの研究グループから術中および術後3日までのアミノ酸の点滴投与が、腎血流を改善し腎不全を予防し得るという報告があり、やや専門的な内容ではありますが共有させていただきます。



No. at Risk								
Amino acid group	1759	1739	1516	1397	1372	1351	1334	1285
Placebo group	1752	1728	1436	1289	1270	1256	1246	1197

N Engl J Med 2024 Aug 22;391(8):687-698.

術後腎不全は主に腎臓の血流低下が関連すると考えられておりますが、特に人工心肺を用いる手術においては一時的な腎血流の低下は避けられません。一方アミノ酸投与が腎血流を増加しGFRを改善させることは以前より示されており、今回心臓手術後におけるその有用性が検証されることとなりました。イタリア・シンガポール・クロアチアの複数施設において施行され、その対象は4,931人に及びます。結果、待機的な人工心肺下での心臓手術患者について、アミノ酸投与群のほうが有意に腎不全の発症を減少させた形となりました。

長期的な予後や透析の必要性を減らし得るかについてはまだ有意差が示されておらず、実際の治療の導入という意味では今後ますます調査が必要な領域ではありますが、数年後には実際に施行される治療となっているかもしれません。安全な心臓手術を皆様に受けていただくため日々邁進して参りますので、何卒よろしくお願い申し上げます。

文責 石田 純也

スタッフ紹介 Vol.35



石田 純也

医師

心臓血管外科 科長

2021年東京医科歯科大卒

本年度より赴任いたしました、石田と申します。昨年度までは宇都宮にて救急・集中治療医として研鑽を積んで参りましたが、現在心臓血管外科で修行をさせていただいております。

今回は集中治療および心臓血管外科領域の両領域に関わる新たなtopicについて共有させていただきました。地域の皆様の健康に寄与できるよう頑張っていきたいと思っております。

